

市内のグループホームと連携し、認知症の人とともに活動する事業を スタートしました

市では、認知症の人やそのご家族の声を聴いたうえで行う地域づくりの取り組み「認知症サポーター活動促進事業」(チームオレンジ)を展開しています。今回、市内5地区目として北区野谷小学校区にて「シャインWすがの」が活動をスタートしました。

1 日時

令和7年4月9日(水)14時～15時

2 場所

グループホーム夢(北区横井上)

3 内容

認知症当事者の「人の役に立てることがあるならしたい」という思いから、地域住民(認知症サポーター)やグループホーム、ケアマネジャー、認知症カフェ等の仲間と一緒にグループホームにてお茶会を開催します。

※「認知症サポーター活動促進事業」(チームオレンジ)

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上で、ソフト・ハード面のバリアを減らしていくため、地域住民、企業・団体、医療福祉関係者等の連携と協力のもと、認知症当事者がどう暮らしていきたいのかの声を聴いた地域づくりを進めていくことです。

4 その他

取材を希望の社は4月7日(月)までに高齢者福祉課までご連絡ください。

【問い合わせ先】

岡山市 高齢者福祉課 田中・西谷

直通086-803-1230 内線5957

認知症の人や
その家族が
「自分の希望」
を地域で発信
できる場



岡山市

の

チーム

オレンジ

北区野谷小学校区



チーム名

シャインWすがの

開催日

偶数月の第2水曜日
(変更の場合あり)

時間

14時～15時

場所

グループホーム夢
(岡山市北区横井上1676-1)

チームの特色

「最近物忘れが増えたかも…」今まで担っていた役割が少しずつ減り、不安な気持ちを持つ中で、「人の役に立てることがあるならしたい」と思っていました。地域の友人やグループホーム、ケアマネジャー、認知症カフェ等の仲間の協力があり、定期的にお茶会を開催しています。

認知症になってもならなくても、誰もが役割を持ち、輝ける地域になるよう取り組んでいます。

「お茶を点てている時は心が晴れる」「地域で役に立てることがあればしたい」
(当事者)

「地域の人に来てもらうのはうれしい」「入居者にとっても刺激になっている」
(グループホーム職員)

「失敗したことは指摘せず、できることを認めるのが良い」
「本人の思いを大切にしたい」
「一緒に参加するよ」
(認知症サポーター)